

「砥部焼デザイン・販路開拓」研究部会

器工房 巳 陶房Kibi 石本 達 器屋ひより
素器工房 三好 教代 窯業技術センター

これまでの砥部焼は、近隣店舗や砥部焼まつりなど地元での対面販売が主でしたが、スマートフォンやSNSの普及により積極的な情報発信を行うことで県外や海外への販路開拓が可能となるため、情報発信力の強化が重要になってきました。

そこで本研究部会では、若手陶芸家6名が従来の砥部焼とは異なる新たな作品を制作し、今までにない展示会の開催、これらが発信するHPやECサイトの制作を行うといった、砥部焼の新たなビジネスモデルの構築に取り組みました。

展示会

価値を高めた砥部焼をHPで情報発信することを意識し、テーマ設定と会場選定を行いました。

◇砥部オーベルジュリゾート

高級レストランなどでの採用を目指し、ギャラリーのオーナーや料理人などを対象に、作品単体と料理を盛った器の両面で見させていただきました。



◇道後温泉ふなや

県外販路開拓のため、県外観光客を対象とし、一般の方に見ていただきました。



HP



About

砥部焼の産地や学び伝統を受け継いだ、その意匠と魂から技術を持つ人々の陶芸。古くから受け継がれる技術と新しい技術とが融合し、新しい作品を生み出しています。

英語併記し海外へ向けて発信

- 令和2年度は、作品制作と海外に発信する英語併記のHP制作を行いました。
- 令和3年度は、作品のブラッシュアップ、2回の展示会開催とその情報発信および、海外対応したECサイトの制作を行いました。
- 今後、HPを活用して積極的な情報発信を行い、海外を含めた販路拡大に取り組んでいきます。

本研究は、ものづくり産業支援事業により実施しました。
「この事業は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しています」